

市民の声 まごころ市長室レポート

市政に関するご意見を、市長が直接
お聴きしました。主な議題を紹介し
ます。
開催日：11月26日(月)
場所：柏原住民センター

市の協議に民間の意見を取り
入れてはどうか
柏原地域 土谷正敬さん

地域に若い人が来てくれ
るよう、魅力的な仕
事を創る必要があります。
そのための政策を考える
際、民間企業を定年退職さ
れた有能な人物に意見を聴
くようにしてはどうか。市
の発展につながると思いま
す。また、市の担当に話が
なかなか伝わらないことが
あるので、対応を検討して
ほしいと思います。

市長 まちを発展させ
るためには何かしない
といけないと考えています。

職員の対応については、まご
ころを持って対応することを市
長訓示で伝えたいと思います。

丹波おじいちゃんの郷を作
りたい
春日地域 岡田博美さん
山内一晃さん

大路地区の活性化をめざ
して、登山家と呼んで
春日地域の山をPRしたり、
登山道の整備をするなどの活
動を行っています。環境・施
設・住民のバランスの取れた
町づくりを行い、全国に発信
したいと考えています。その
中で、市には「おばあちゃん
の里」があるので子どもたち
が遊べるオートキャンプ場な
どを整備した「おじいちゃん
の郷」を作ったら、人が春日
地域・丹波市に来るきっかけ
になるのではと考えています。



笑顔で話す岡田さん

市長 舞鶴若狭自動車道
と北近畿豊岡自動車道
の走る春日地域は、物流・
観光の拠点として地の利があ
ると思っています。遊び心を
持つて、楽しく夢を形にされ
ているのがすごいと思います。
ぜひ頑張ってください。

100円笑店街の運営について
柏原地域 岩間想治さん
豊嶋のぞみさん

前回の100円笑店街を
織田まつり・丹波ルシェ
と合同で実施したこと、市
と地元につながりができ、運
営の面でも参考になることが
多くありました。さらに距離
を縮めるため、次の100
円笑店街で市がブースを出せ
ば、街の活性化に向けてお互
いが協力し合える関係になれ
るのではないのでしょうか。

市長 観光は、1000
人の観光客に来てもら
えるより、1000人の客が
10回リピーターとして来てく
れる方が、その土地の魅力が
高いのだとよく言われます。
100円笑店街はリピーター
が多いということなので、理



熱意あふれる豊嶋さん

保護猫活動に対する支援を
柏原地域 足立真紀さん

野良猫などの保護活動を
ボランティアで行ってい
るのですが、餌付けなどで数
が増えすぎて、保護では追いつ
かなくなっています。そのた
め、野良猫が子猫を生まない
ようにすることで、不幸な命
を減らしたいと考えています
が、助成金のルールも難しく、
利用者がいないのが現状です。
飼い方のマナーをもっと啓発
し、正しい知識を持つて飼育
管理することで、困っている人
が減るのではないのでしょうか。

市長 「地域猫の保護」と
いう主旨を実現するには、
自治会単位など広く活動する

柏原高校の今後について
校長 井上千早彦さん

医療従事者・教員希望者
の多い柏原高校で、勉
強会や実習などを通して、そ
の道を歩む心構えなどを身に
つけられるようにしたいと考
えています。地元から出た生
徒が市に戻ってきて力を発揮
することが市に良い循環を生
むと思います。また、国際交
流の一環で、外国の高校生と
一緒にまちづくりに取り組む
などの試みを行えば、地域活
性化にもつながると思います。

市長 新病院での実習や、
国際交流のまちづくり
プログラムについて、行政の
立場から協力できることがあ
ると思います。来年には姉妹
都市提携を結んだケント市・
オーバン市から両市長が来丹
されるので、柏原高校の生徒
との交流も願っています。

丹波布のこれからを共に考える

西尾真澄さん vol.25

経歴：札幌市出身。大学卒業後、自然と
関わりの深い丹波布に出会い、地域おこ
し協力隊として丹波布を生かしたまちづ
くりに取り組む。任期：29年9月～



べています。機織り道具・佐治商人の流通・
綿作りなど、昔の様子をご存知の方がおられ
たら、どこにでも伺いますので、ぜひお話を
お聞かせください。私の簡単な活動報告を丹
波布伝承館に設置しています。ご覧いただき、
ぜひお気軽に声をおかけください。



丹波布技術保存会の会議に参加する西尾隊員（中央）



こんにちは。昨年9月から地域おこし協力
隊として丹波布を生かしたまちづくりに取り
組む西尾真澄です。

これまで、丹波布の歴史と史料をまとめた
小冊子の発行や、丹波布技術保存会主催の記
念事業の開催に携わってきました。

今は、丹波布の文化財的価値を高めるため、
他の織物産地の視察や、伝統工芸の専門家か
らの助言をもとに丹波布の良さを改めて学び
直し、これからの可能性・方向性について、
丹波布技術保存会をはじめ関係者の皆さんと
共に検討を重ねているところです。

また、丹波布の歴史をより深く紐解いてい
くために、丹波布の生産が盛んだった江戸末
期～昭和の初め頃の青垣周辺の村の様子も調

市長コラム 丹波語り あなたまかせの 年の暮れ



「ともかくもあなたまかせの年
の暮れ」（小林一茶）

私なりの解釈はこうです。年
の暮れに一年を振り返った時
「何かとたくさんのお出来事があ
ったけれど、あの時多くの方々
にお世話になったお陰様で今こ
こに立つことが出来ている。そ
してまた新しい年を迎えること
ができる。」と実感します。

単に他人任せにして、流され
てきた訳ではなく、自分なりに
もがいてきました。それでも人
生は思うようにならないし、悲
しみ・悩みは尽きることがあり
ません。一生懸命努力したから
と言って必ず報われるとは限り
ませんし、不公平だと思ふこと
もあります。

そんな時、悲観的に考えず、何

かに頼り、誰かに甘え、身を委ね
ること・支えてもらうことは決し
て逃げた事にはなりません。
人はか弱く一人では生きてい
けないものですし、先の見えに
くい不透明な世の中だからこそ、
支えられ、また誰かを支えなが
ら、次の世代に何かを伝えてい
かねばならないと思います。
俳人・小林一茶は、その生い
立ちから晩年まで、実に過酷な
人生を送っています。しかし、
それを風刺・洒落な作風に置き
換えてきたように思えます。年
末になると必ず不思議と思い出
す名句です。

市政の運営にもさまざまな課
題がありますが、多くの方々に
支えられていることを改めて感
謝し、手と手を取り合って良い
市になるよう努力していきたい
と思います。

